



# ippo(いっぽ)

【研究主題】 一人一人が学んだことを実感し、自分から行動する姿を目指して  
～各教科等の指導を支える自立活動の視点から～

## .....指導主事計画訪問から.....

### <指導助言>

秋田県特別支援教育課 近江 龍静 指導主事より

～小学部の参観について～

- ・雰囲気良く、教師が楽しそうで、その様子が子どもたちに伝わっていた。
- ・主体的に遊ぶための環境、安全、衛生面はどうか。
- ・生活科を始め、「各教科のこんな力が育っている」という意識や意図をもって指導してほしい。
- ・どんな力を育てたいのかが大切。身に付けた力を今後に生かすための構成を！
- ・子どもの成長が確認できた。一人一人の実態に合わせた課題の設定、様々な手立てをして「自分から行動する姿」を引き出してほしい。保護者との連携も大切にしながら、充実させてほしい。

### <指導助言>

秋田県特別支援教育課 中村 素子 指導主事より

～中学部の参観について～

- ・単元名は分かりやすく、一人一人が目的意識をもって、学習のテーマに向かいやすいものにする。
- ・集団の雰囲気が一つになっていた。生活単元学習の中に教科としての学習内容が含まれていた。単元を通して一人一人が知識や技能を獲得することが求められる。みんなで作る制作物としてどんな物が望ましいかを考えることが、良い物とはどういう物かという観点につながっていく。

～高等部の参観について～

- ・時間内に改善策を考えるロールプレイを行い、実践し、成功体験までいければ良い。
- ・良かった点や課題を生徒が出して、自分たちで評価し合う高校生らしい取組である。
- ・生活単元学習の中に教科としての内容を取り入れ、説明ができるように確認してほしい。
- ・自分から行動するために、めあてや手立て、主体性を大事にしてほしい。自分なりにめあてに対する評価を実感することが、自分から動ける力につながる。
- ・授業のデザインチェックリストを活用したり、ベースミーティングで悩みを共有したりしながら、授業作りの話し合いを深めてほしい。

子どものことを知ろう！  
じっくり考えよう！

## 子ども理解ミーティング

7月24日(水)各学年に分かれて「子ども理解ミーティング」を実施しました。「複数の先生で話し合うことで多面的な実態把握ができた。」「障害による困難さが見えてきた。」といった声が聞かれ、有意義な話し合いとなりました。



## ミーティングの進め方

- ① 付箋に実態を記入し、「子ども理解シート」に貼る。  
(付箋青：できること 赤：学習面、生活面の困難さ 黄：障害の状態)
- ② 収集した情報を大まかに関連づける。 例) コミュニケーション、情緒
- ③ 自立活動の内容を六区分のどこに当てはまるかを検討し、色別シールを貼る。
- ④ 取り上げたいことを挙げ、背景要因を考える。
- ⑤ 1～3年後、改善されたら学習や生活に取り組みやすくなるという観点から指導目標を考える。



この話し合いで出した目標をベースに各教科等の授業づくりに取り組んでいきましょう！！

### .....新井先生による自立活動研修会.....

自立活動の流れ図を活用した実態把握、目標設定について改めて共通理解し、各教科等の授業づくりにどう反映させていくか明らかにするために、新井先生からご講演いただきました。

#### <講演内容>

茨城大学 新井英靖教授

- ・生活単元学習のねらいと自立活動のねらいを分けて捉えること
- ・教科と生活単元学習の違いを明らかにし、その教科に必要な見方、考え方をしていく。
- ・障害によって困難が生じているのであれば、社会生活に適応・活用していくために、その困難を克服していく必要がある。例えば言葉を適切に使うなど自立活動で支えてあげる必要がある。
- ・自立活動の視点から対象児の実態を捉え、困難さの背景を考えることで何を指導するかが明確になっていると良い。
- ・人によって捉え方が違うため、簡略化した流れ図を作り、背景要因の捉え方に違いがないかを確認する。背景要因が明確になると、対応の仕方も明らかになる。
- ・自立活動の視点を生活単元学習に盛り込んでほしい。目標は生活単元学習の目標でよいが、自立活動の視点を生活単元学習の手立てに入れる。どんな手立てがあれば、目標達成できるのかを考える。

#### <講演会の様子>

#### <アンケートから>



- ・実際の授業の指導案やビデオを見ながら、生活単元学習における自立活動の視点に基づいた配慮点を教えていただき、とても分かりやすかった。
- ・生活単元学習の手立ての中に自立活動の視点を盛り込んで、生活単元学習と自立活動の両方の視点をもって丁寧に児童生徒の様子を見ていきながら、授業づくりを進めていきたいと感じた。
- ・自立活動と合理的配慮の違いも納得した。
- ・流れ図は、実態や背景要因、課題が記載された簡略化したものでよく、背景要因を深く掘り下げることが参考になった。
- ・背景要因を簡潔にまとめ、そのための手立てを考えることで、指導目標や内容が明確となり、単元の年間計画を立てる際にも役立つと思った。